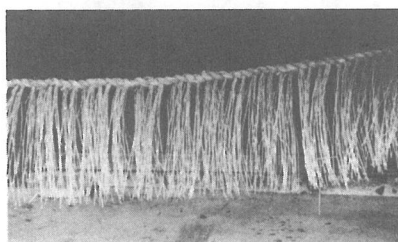
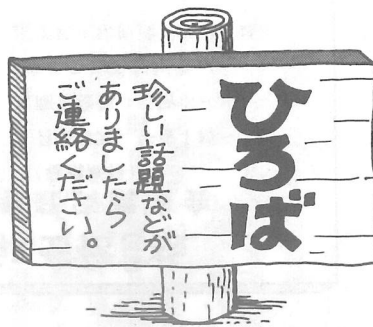


# 見よう 見まねで9年 しめ縄作り

南川岸 浅野三郎さん (74歳)



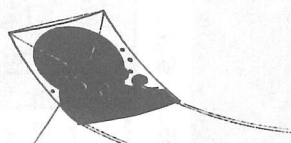
四社神社に飾られるしめ縄



左でよっていくので年とると力がなくて

9年前、四社神社の総代を引き継いだのがきっかけで、見よう見まねで始めたしめ縄づくり。  
今では、正月のほか、秋祭り用など年3回のしめ縄づくりが定期的にやっています。田をやめてしまった浅野さんにとって、材料の準備も大

事な仕事。陰干しなど細かい心配りが仕上りに大きく左右します。「年をとって力がなくなってきたから、もう次の人に譲りたいんだが……」と書いていました。やはりここにも後継者の悩みが。地元の熱いラブコールをかわすことができるでしょうか。



## 大凧づくりに挑戦



童心にかえて無心にたこづくりをする相談員 (右端が伊藤 勉さん)

青少年相談員の一人、伊藤 勉さんが「大凧をつくってみたいか」と話しをもちかけたのがきっかけとなり、相談員の皆さん、フリータイムを利用して、大凧づくりに悪戦苦闘。  
縦3メートル、横2メートルもある大物だけに、製作する手にも力が入ります。本番は8日の町たこ上げ大会。さて、念力がたこに通じるか……。